2006年春闘『もうひとつの日本』へ

2006年春闘が始動しました。「官から民へ」「小さな政府」という小泉内閣のやりかたが「規制緩和」「公務の民間化」に拍車をかけ、命と健康、安全を無視したやりかたで、列車事故、家電製品の不良製品など企業不祥事、耐震構造偽装問題、ライブドア事件につながっています。今春闘では、民間大企業でも労組が賃上げ要求をだしはじめています。

全労連は、小泉構造改革、拡大する格差社会に対して、企業の社会的責任を追及し、「みんなでつくろう、もうひとつの日本―はたらく仲間が元気がでる社会」を掲げてとりくんでいます。組合員のみなさん、集会、宣伝、懇談会、学習会などひとつでも、今春闘のとりくみに参加しましょう。

はたらく仲間が元気がでる社会を

写真は1月19日の「府庁・NTT包囲行動」

おおさか自治体の仲間　発行：大阪自治労連（大阪自治体労働組合総連合）　2006年2月15日　No.205

〒530－0041　大阪市北区天神橋１－13－15大阪グリーン会館４Ｆ　☎06－6354－7201　FAX06－6354－7206
E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp
URL:http://www.osaka-jichiroren.jp

発行人／谷　真琴　　編集人／西岡　健二
平成２年９月12日第３種郵便物認可
毎月15日発行（１部10円）組合員の購読料は組合費に含まれています。

日時だよ！ 全員集合

春闘での集会・行事・とりくみ

- ２月17日（金）～23日（木）　2006年春闘批准投票
- ２月18日（土）～19日（日）　民法協権利討論集会（京都市）
- ２月19日（日）　建築確認申請偽装問題シンポジウム（城北学習センター）
- ２月19日（日）　大阪社会保障推進協議会介護保険学習決起集会（エル大阪南館）
- ２月23日（木）　2006年春闘地域総行動
- ２月24日（金）～25日（土）　自治労連第13回共済学校（愛知県蒲郡市）
- ２月25日（土）　大阪自治労連第16回駅伝競走大会（堺市・大泉緑地公園）
- ２月25日（土）　大阪自治労連青年部2006年春闘討論集会
- ２月25日（土）～26日（日）　自治労連第11期女性労働学校（名古屋市）
- ３月２日（木）　自治労連全国代表者会議（東京・自治労連会館）
- ３月３日（金）　2006年春闘パート1000人パレード
- ３月４日（土）　大阪自治労連春の組織集会（大阪市・いきいきエイジングセンター）
- ３月４日（土）～５日（日）　自治労連公衆衛生全国交流集会（東京・板橋区）

当方見聞録 2

とうほうけんぶんろく

中山　直和さん（大阪市労組）

『公務員制度改革』――ILOのふたつの勧告に学ぼう

ジュネーブでの中山直和さん（左端）

「ILO要請団」メンバーとしてジュネーブへ

全労連・自治労連は昨年12月19日から5日間、大黒作治・自治労連書記長を団長とした「全労連ＩＬＯ要請団」を結成し、ジュネーブにある国際労働機関（ＩＬＯ）本部を訪ね、要請と懇談をしました。自治労連から参加した7人のひとりが中山直和さん（大阪市労組副委員長）でした。

「２００２年３月に全労連がＩＬＯに行なった『公務員制度改革に関わる提訴』で、ＩＬＯは２００２年と２００３年の２回にわたって日本に勧告をしました。日本政府はこれを無視し、労働基本権問題を棚上げしたままで、いま小泉内閣が『公務員の総人件費削減』として事実上の公務員制度改悪を強行しようとしている実情を追加情報として提出、要請してきました」と中山さん。とくに「人員と賃金削減が進行しており、その手法は、労働者・組合の意見をまともに聞かずに決定するという深刻な事態にあること、昨年8月の人事院勧告は政府の方針に沿ったもので勧告制度が代償措置になりえていないこと、労働基本権がない中で地方公務員をめぐっても、多くの自治体が政府の政治的介入による賃金切り下げを進めていること」などを強調してきたといいます。

また、中山さんは、大阪市役所における労働組合運動への象徴的な攻撃として、専従組合役員の許可、時間内の組合活動の許可について市がさまざまな口実に基づいて拒否の姿勢を強めていることなど、厳しい現場の状況について訴えました。「驚いたのは、ＩＬＯの日本人スタッフが一連の大阪市問題をよく知っていたこと。国際的な常識から見ても大阪市の異常さがクッキリ見えました」と大阪市問題が国際問題になっていることを実感したといいます。

今回の要請ではＩＬＯ側からは、「こうした追加情報は有意義であり、ＩＬＯにとってありがたい。ＩＬＯからの勧告とともに、何より日本での運動を強化して欲しい」と強い期待と激励も受けたといいます。「あらためて、ＩＬＯのこの間の勧告を学習することが大事」との思いを強くした中山さんです。

衛都連結成60周年記念 記念歌（愛唱歌）の歌詞募集

衛都連は、今年60周年を迎えます。そこでこれまでの運動と到達を確認し、これからの運動を励ましていく記念歌（愛唱歌）を募集することになりました。入賞した優秀な詩には、曲をつけ、７月に予定しているレセプションで発表する予定にしています。みなさんの作品をお待ちしています。

募集要項

(1)　**募集期間**
2006年２月15日～３月31日

(2)　**選考基準**
労働者と住民を励ますことのできる詩
（作曲の都合上、一部変更する場合があります）

(3)　**選考**
衛都連役員と衛都連合唱団はじめとする選考委員

(4)　**賞品**
優秀な作品には、記念品（５万円相当）を贈ります

(5)　**作曲者**
日本のうたごえ全国協議会で活躍する作曲家に依頼します

(6)　**その他**
入賞した作品の著作権は、衛都連に帰属します